

ペットボトルつい下げ 根付け

XRQTEchLab (C) 2014/08



暑い季節、水分補給にペットボトルを持ち歩く機会が多くなります。でも、手に持っているのはなかなか煩わしいもの。手軽に身につけたいものです。

そこで、昔の旅人が帯の間に根付けを挟んで小物を持ち歩いたように、ペットボトルに紐を巻き付けて、ベルトに挟んで持ち歩けるようにしました。

これには2つのロープワークを使っています。一つはペットボトルの首に巻き付ける「巻き結び」もう一つは根付けを作る「こぶ結び」です。

用意するもの： 70cmくらいの紐（コード）

ここではパラコードというナイロンを束ねたものを使用しました。

3～4mmφのものがよいと思います。

●根付けを作る

コマ結びでもこぶは作れますが、もっと大きなこぶを作りたいと思います。実際には上の写真のように2本を一緒に結んで大きなこぶにしていますが、まず1本でこぶの作り方を練習してください。



① 二つの輪を作ります。

輪の交差部分を見てください。左の輪では長くのびる方が上側になっています。左側の輪では下側です。

長くのびているコードは中のコードを挟んでいます。

この2つの輪の作り方は、次に行う巻き結びと一緒にします。

※左右にのびているコードは、右側がコードの端になるものとします。



② 左の輪を右の輪の下側からくぐらせます。

③ くぐらせた輪の中に、右にのびているコードの端を通します。

④ コードの端と左側の長い方のコードを引いて締めていくと大きなこぶが出来上がります。



1本取りでできた大きなこぶ

⑤ 1本取りでのこぶができるようになったら、根付けにするコードを折り返し、端の部分に2本取りでこぶを作ります。

●巻き結び



こぶづくりでも行ったように2つの輪を作り、上の写真のように輪を重ねます。この輪の中にペットボトルのネック部分を入れて締めれば完成です。

この巻き結びは結び目を見ると左のように左右にのびるコードが上から押さえられているのがわかります。

この結び方は杭にロープを固定したり、束ねたり、さまざまな用途で活躍しています。